

テレビジョン放送番組素材伝送用 データ・クロック別送シリアルインタフェース

Serial Interface for Separate-Cable Transmission of Data and Clock for Television Program Contribution

標 準 規 格

ARIB STANDARD

ARIB STD-B18 1.0版

平成9年11月27日1.0版 策 定

社団法人 電 波 産 業 会 Association of Radio Industries and Businesses

まえがき

社団法人電波産業会は、無線通信機器製造者、放送機器製造者、電気通信事業者、放送 事業者及びその他利用者の参加を得て、各種の電波利用の無線通信設備、放送受信設備に 係わる標準的な仕様等の基本的な技術条件を「標準規格」として策定している。

「標準規格」は周波数の有効利用及び他の利用者との混信の回避を図る目的から定められる国の技術基準と併せて、無線通信設備や放送受信設備の適正品質、互換性の確保等、無線通信機器製造者、放送機器製造者、電気通信事業者、放送事業者及び利用者の利便を図る目的から策定される民間の任意基準を取りまとめて策定される民間の規格である。

本標準規格は、「テレビジョン放送番組素材伝送用 データ・クロック別送インタフェース」について策定したもので、策定段階に於ける公正性及び透明性を確保するため、内外無差別に広く無線機器製造者、放送機器製造者、電気通信事業者、放送事業者、利用者等利害関係者の参加を得た当会の規格会議の総意により定められたものである。

本標準規格が、無線機器製造者、放送機器製造者、電気通信事業者、放送事業者、利用者等に積極的に活用されることを希望する。

目 次

まえがき

第1章 -	-般事項	
1.1 目的	的 1	1
1.2 適月	甲範囲1	i
第2章 テ	ータ・クロック別送インタフェース	
2.1 送付	信端電気特性	2
2.1.1	出力インピーダンス	2
2.1.2	信号レベル	2
2.1.3	データの立上り・立下り時間	2
2.1.4	クロックデューティ	2
2.1.5	クロックジッタ	2
2.1.6	データとクロックのタイミング	2
2.1.7	伝送帯域	3
2.2 受付	信端電気特性	3
2.2.1	入力インピーダンス	3
2.2.2	受信感度	3
2.2.3	妨害除去特性	3
2.2.4	データとクロックの遅延時間差	3
2.3	ネクタとケーブル	4
2.3.1	コネクタタイプ	4
2.3.2	ケーブルの種類	4
2.3.3	ケーブル長	4
2.4 接約	続方法	4